

## 吉田一彦ゼミの案内

### 研究テーマ

- ◇ 吉田ゼミは、「日本の歴史と文化」を研究するゼミです。日本の歴史を実証的に解明し、日本の文化の形成過程を歴史的に考察して、日本の文化の特質について学びます。アジア東部の国々・地域の歴史・文化と日本の歴史・文化を比較して、その共通性と差異について考察し、特に中国や韓国と比較しながら日本の歴史や文化の特質について考究します。そして、日本の文化が文化交流の歴史の中で形成されてきた、その具体的な過程について研究していきます。
- ◇ 担当教員の吉田一彦の専門分野は、日本古代史、日本仏教史です。これまで、奈良平安時代の歴史や文化の解明を中心に研究を進めてきました。また、日本中世の歴史や文化についても研究し、最近では、名古屋城、熱田神宮など地元名古屋の歴史文化遺産と観光についても研究テーマに加えました。主な著作に『日本古代社会と仏教』（吉川弘文館）、『民衆の古代史』（風媒社）、『古代仏教をよみなおす』（吉川弘文館）、『変貌する聖徳太子』（編著、平凡社）、『仏教伝来の研究』（吉川弘文館）などがあります。

### ゼミの学習

- ◇ ゼミでは六国史の一つである『日本三代実録』（漢文体）を輪読しています（最初は読めないけれど、そのうち少しずつ読めるようになります）。漢文史料を読む練習としてはよい文献だと考えています。また、研究論文の丁寧な読み方も学びます。
- ◇ ゼミでは、原史料を少しずつ読み進め、史料を批判的に読解する訓練をします。一つ一つの事柄を最初は辞典から、次には他の史料や研究論文から詳しく調べ、それをわかりやすくレジュメにまとめて、明快に説明することを目標とします。
- ◇ 物事を原史料にあたって考察し、原史料を批判的に読解、解明して、その結果を報告するという訓練は社会に出てからも役に立つ実践的な知だと考えています。
- ◇ ゼミは2、3、4年生合同で行なっています。毎回、一人または二人が担当者となって、自分の分担箇所について調べ、レジュメを作成して発表します。

### 卒業論文

- ◇ ゼミの集大成として各自が卒業論文を作成します。日本の歴史・文化に関わる研究テーマで、古代、中世に関するものが中心となります。研究テーマは各自が自ら定め、個人研究を行ないます。ゼミの時間に中間発表を数回行ない、論文にまとめます。

連絡先 [yoshida@hum.nagoya-cu.ac.jp](mailto:yoshida@hum.nagoya-cu.ac.jp)